

科目番号	54026	分類	専門科目 公衆衛生看護学実習	履修者	高度実践公衆衛生看護コース	学年
科目名	地域包括ケア実習 (Practical Training in Community-based Integrated Care System)					2
						配当セクター
						前期
担当者	○駒田 真由子 他 1 名	区分	必修	単位	1	時間数 45
授業の概要および目標					学位授与の方針との関連	
【目 的】 地域包括支援センターにおいて、地域包括ケアシステムの中で医療職がどのように地区組織と関わり、地域住民の健康増進に関与し、介護予防・健康増進に関与しているのかを実践的に学ぶ。 【実習目標】 1) 地域包括支援センターにおける保健師の役割を理解する。 2) 地域の健康課題解決に向けて行う関係機関との連携を理解する。 3) 地域ケア会議等を通じてネットワークが構築され、地域ケアシステムへと発展する過程を理解する。 4) 地域の人々が安心してクラスのための地域包括ケアシステム構築のための公衆衛生看護活動のあり方を考える。 5) 地域特性に応じた地域包括ケアシステムを進めていくために、保健師として必要な知識、技量、視点について考察する。					○	1.地域住民の自立を支える能力
						2.産業保健の対象者の健康増進活動を支援する能力
					○	3.政策や保健事業をプランニング・コーディネーション・マネジメントできる能力
						4.免学・統計学を実践に活かせる能力
					○	5.災害対応や新興・再興感染症への危機管理能力
実習計画						
1) 地域包括支援センターで実施されている事業について説明を受け、実際に事業に参加する。 2) 可能な限り職員の訪問へ同行し、その事例についての必要なシステムや社会資源について考察する。 3) 可能な限り地域ケア会議等に同席する。同席が難しい場合は、事例に基づいて会議の目的、メンバー、内容等の説明を受ける。						
事前・事後学習	事前学習：実習地域について十分な情報収集を行い実習に臨むこと。 事後学習：自身の実習記録や指導者よりカンファレンス等で受けた指導について復習すること。 単位と時間数に応じた学習時間（学生便覧参照）を参考に組み合わせること。					
評価の方法	実習への参加および目標の達成状況（80%）、レポート課題（20%）から総合的に評価する。					
参考図書・資料等	適宜紹介する。					
履修要件	1 年次に開講されている科目の全ての単位を修得していること。					
備 考	オフィスアワーについては、学生便覧を参照し、教員と日程調整をする。					